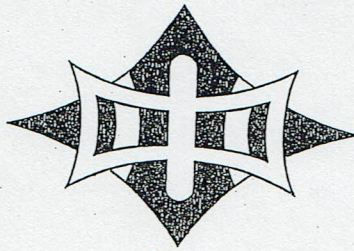


# 学校だより 希望の鐘

ひとつのつぼみは、いどしかにひらかない



## 八戸市立 小中野中学校

平成30年12月13日(木)

No.140 文責：校長  
工藤聡

### 2学期の「生徒アンケート」「保護者アンケート」結果と考察

2学期末も1学期に続き、生徒と保護者の皆様にアンケートを実施いたしました。今日は、その結果をお知らせいたします。

アンケートは、質問に対して「Aあてはまる(よい)」「Bややあてはまる(ややよい)」「Cあまりあてはまらない(やや悪い)」「Dあてはまらない(悪い)」の4つから選ぶ形式をとりました。数字(小数点以下四捨五入)は、「Aあてはまる(よい)」と「Bややあてはまる(ややよい)」の人数を合計したものの、全体から見た割合(%)となっています。(△は1学期よりプラス、▼はマイナスです。)

#### 【生徒】

No.	評 価 項 目	今 回	前 回	昨 年	△ ▼
1	コナノートを活用して予習・復習に取り組んでいる。	95	90	88	△ 5
2	毎時間の授業の流れがわかり、内容も理解できている。	82	82	79	0
3	授業でペア学習やグループ学習を行うと、授業内容がよくわかる。	89	88	86	△ 1
4	授業では姿勢を正し、板書等をしっかりノートにまとめている。	91	93	88	▼ 2
5	自分の将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている。	82	73	74	△ 9
6	朝読書の時間以外にも家で進んで読書している。	56	61	46	▼ 5
7	進んで大きな声であいさつや返事をしている。	88	89	78	▼ 1
8	毎朝、朝食をとっている。	94	94	92	0
9	給食の準備や後始末を進んで行っている。	93	94	92	▼ 1
10	清掃にしっかりと取り組んでいる	94	94	93	0
11	早寝・早起きを心がけて生活している。	81	86	75	▼ 5
12	テレビやゲーム、スマホ(SNS)は時間を決めて遊んでいる。	71	77	65	▼ 6
13	学習や悩みごとなど先生に気軽に相談できる。	68	74	64	▼ 6
14	学級は居心地がよいと思う。	87	88	84	▼ 1
15	行事の成功に向けて積極的に活動しているので、学校行事は楽しい。	95	93	90	△ 2
16	学級通信などの「たより」を家の人に渡している。	92	93	88	▼ 1
17	参観日や諸連絡などの「お知らせ」を家の人に渡している。	93	97	89	▼ 4
18	学校での出来事を家の人に話している。	83	82	79	△ 1
19	先生はがんばったことを認めてくれる。	88	88	85	0
20	自分のことは好きである。	63	64	59	▼ 1
21	自分は家族や友人から認められたり、必要とされていると思う。	80	73	73	△ 7

(⇒右の「その2」に続きます。)



# 学校だより「希望の鐘」No.140 その2

## 【保護者】

No.	評 価 項 目	今 日	前 日	昨 年	Δ ∇
1	子どもはコナノートを使って予習・復習に取り組んでいる。	84	81	79	Δ 3
2	学校（先生）は、子どもにわかる授業を行っていると思う。	88	88	86	0
3	子どもは授業準備（忘れ物をしない）や提出物をしっかりやっている。	77	77	78	0
4	子どもの将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている。	81	76	82	Δ 5
5	子どもの様子を見て、家庭でも読書の習慣が身についていると思う。	36	29	38	Δ 7
6	進んであいさつや返事をするよう子どもと話し合っている。	87	85	84	Δ 2
7	子どもが遅れるからいらぬというような時でも毎朝朝食をとらせている。	94	92	91	Δ 2
8	家庭では食事の準備や後始末など家事の手伝いをさせている。	72	65	65	Δ 7
9	子どもの規則正しい生活習慣（早寝・早起き等）づくりに努めている。	72	72	75	0
10	テレビ、ゲーム、SNSは時間を決めて長々と遊ばないようにさせている。	64	63	65	Δ 1
11	学校（先生）は、生徒の悩みやいじめ解消に向けて努力していると思う。	91	88	90	Δ 3
12	子どもは楽しく学校生活を送っていると思う。	91	92	91	∇ 1
13	学校からのお知らせ、学校（学年・学級）だより等のプリントは読んでいる。	92	90	88	Δ 2
14	安全情報配信システムや学校HPを見て、学校の情報を得ている。	90	94	86	∇ 4
15	学校での出来事を子どもと話し合っている。	87	83	84	Δ 4
16	授業参観や保護者集会、懇談会には参加するようにしている。	75	68	72	Δ 7
17	学校（先生）は子どもががんばったことを認めてくれていると思う。	91	90	91	Δ 1
18	子どもは自分のことを好きである（肯定的にとらえている）と思う。	88	91	86	∇ 3
19	子どもは友人、先生から認められたり必要とされていると感じていると思う。	90	88	90	Δ 2

①「生徒アンケート」では21項目中6項目で上がり、11項目で下がりました。1項目平均でも、0.4ポイント下がりました。ただ、昨年同時期のものと比較すると、21項目すべてにおいて上がっていますので、単純には比較できませんが、学校の状態は悪くないのではないかと考えています。

②「保護者アンケート」では、「生徒アンケート」とは逆に19項目中13項目で上がり、3項目で下がっています。1項目平均では2ポイントの上昇でした。昨年同時期のものと比較しても、19項目中11項目で上がっています。1項目平均も、1.5ポイントの上昇です。

③生徒が厳しく評価しているのは、4次考査の成績がちょうど出た頃で、しかも三者面談中であつたことが影響しているのではないかと思います。逆に保護者の方々には、大変温かい眼差しで、お子さんや学校を見ていただいていると感じます。誠にありがとうございます。この2つの違いは、乖離（カイリ：離れてしまっていること）しているのではなく、それぞれの見方や感じ方が違うということでご理解いただくとわかりやすいのではないのでしょうか。

④「生徒アンケート」で最も大きく上昇した項目は、「5 自分の将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている」の9ポイントであり、これは「保護者アンケート」の「4 子どもの将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている」のプラス5ポイントとも合致しています。さきほども言及しましたが、三者面談期間中だったことが大きいと思われます。

⑤「生徒アンケート」で5ポイント以上下がったのは4項目ありますが、このうち「6 朝読書の時間以外にも家で進んで読書している」「11 早寝・早起きを心がけて生活している」「12 テレビやゲーム」  
(⇒裏の「その3」に続きます。)



## 学校だより「希望の鐘」No.140 その3

ム、スマホ（SNS）は時間を決めて遊んでいる」の3つは家庭でのことであり、学校と家庭が今後とも連携して取り組んでいかなければならないと強く感じます。ただ、「保護者アンケート」の「5 子どもの様子を見て、家庭でも読書の習慣が身についている」プラス7ポイント、「6 進んであいさつや返事をするよう子どもと話し合っている」プラス2ポイント、「7 子どもが遅れるからいらぬというように時でも毎朝朝食をとらせている」プラス2ポイント、「8 家庭では食事の準備や後始末など家事の手伝いをさせている」プラス7ポイントと、保護者の皆様のご家庭での指導においても頑張ってくれていることがよくわかり、大変ありがたいと思っております。それと同時に、生徒が自分自身のことを、とても厳しく評価していることも感じられ、私としては頼もしくさえ思えます。（私も60歳になり、生徒を甘く評価しているのかもしれませんが…。）

⑥「生徒アンケート」の「13 学習や悩みごとなど先生に気軽に相談できる」という項目は6ポイント下がってしまいました。校長として責任を痛感しておりますが、生徒個々の気持ちや学年ごとの違いも見られることから、その点を配慮しながら今後も丁寧に対応していきたいと思っております。「21 自分は家族や友人から認められたり、必要とされていると思う」は大きく（プラス7ポイント）上昇していることから、学校で「認める」「ほめる」「励ます」ことを指導の土台として、生徒の自己有用感を高める取り組みをしていることの効果は出ていると思っております。

⑦「保護者アンケート」の「13 学校からのお知らせ、学校（学年・学級）だより等のプリントは読んでいる」プラス2ポイント、「16 授業参観や保護者集会、懇談会には参加するようにしている」プラス7ポイントと、学校に関心を持って足を運んでいただいていることに感謝申し上げます。

⑧生徒アンケートとは別に、「学習・生活調べ」も実施しています。その中で、学習習慣のプラス評価は88%（7月84%、昨年83%）と過去3年で最高となり、私が目標とする85%を初めてこえました。特に「ていねいな文字を書く」という項目での上昇が大きかった（プラス10ポイント）です。生活習慣のプラス評価も89%（7月89%、昨年88%）で、こちらも目標の85%に届きました。ただ、どちらも「あいさつ」（学習習慣は授業内、生活習慣は朝や帰り）の部分で7月から下がりましたので、「あいさつさせる」ということではなく、あいさつすることの意味や意義を考えさせながら、自ら「あいさつする」ようになればと思っています。「自己有用感がある」生徒は、前述したように80%で、やはりここ3年間では最高となりましたが、小中野中の課題としてきた「自己肯定感をもてる」生徒は63%で、目標としていた70%には届きませんでした。学力も含め、いろいろな面で自信をつけさせていかなければならないと思っておりますが、「自分のことは好きである」という問いのため、これでは思春期真っ只中の中学生が「はい」と答えづらい面もあったと反省しています。来年度は、質問の文言についても改善していきます。

⑨最後に「保護者アンケート」の自由記述について、その全てを掲載いたします。（ ）は私としての回答と捉えていただければと思います。

●「2」「11」「17」は、よくわかりませんでしたので、記入なしです。／このアンケートの指標ですが“よくわからない”ものもあると思います。「11」「17」は想像になってしまいました。（確かに答えづらい質問で申し訳ありません。お子さんの様子を見て「そう思う」ということでお答えいただければと思っておりました。） ●**考查前や春季・秋季大会前は宿題が多い。**各教科で宿題が集中しないよう先生方でバランスを考えてほしい。（おっしゃる通りです。学校でも優先順位をつけさせながら、宿題や家庭学習の量に配慮しているつもりでしたが、まだまだ足りなかったようです。今後気をつけたいと思います。） ●**勉強がどんどん難しくなっていく、覚えること、勉強についていくのに「少しやっ」というところが出てきたように思う。**難しくなった分、家での勉強もどうやったらいいのかわからなくなってきたように思う。だから点数も下がってきているのかなと…。この先どうしたらいいのかわからず、とても悩んでいます。本人にも言っていますが、「できないから仕方ない」と言うだけで、重く受け止めていないようです。（⇒右の「その4」に続きます。）



## 学校だより「希望の鐘」No140 その4

(人生と同様、中学校3年間も山あり谷あります。今の時期、同様の生徒がいっぱいいます。お子さんが困難な状況になると、保護者の方としては、ずーっとそうなのだと思います悲観してしまいますが、そんなことはまずありません。お子さんが、意欲を持つような時が必ず来るはずですから、月並みな言い方になってしまいますが、親としてあきらめず励ましてください。勉強の仕方等については、遠慮なく担任の先生や学校に相談してもらえればと思います。) ●宿題は毎日やっています。時々忘れると怒られるのは本人が悪いけど、うちの子がやっていった宿題を書き写している子どもたちも多い様子。怒られた方は、バカバカしくなると思いますが、家族では励ましています。(ご家庭でいろいろ励ましていただいてありがとうございます。宿題は自らの力をつけるためにやっているのであってそれを写しても自分の力には絶対になりません。まずは、そのことを生徒に自覚させる指導も今後必要であると感じました。子どもの心理として、自分でやった宿題を周囲の生徒が何の苦勞もなく写していることが納得できないという気持ちも理解できます。正義感もあると思います。道徳教育等で生徒の心を育てていければと思います。) ●親が教科書や問題を読んでも意味不明なときがある。使用する教科書等について見直した方が良いのでは？(教科書の採択は、市町村教育委員会が行っています。このようなご意見があったことは、早速八戸市教育委員会の担当課の方に伝えました。) ●毎日持ち物が多くリュックがとても重いようなので、持ち帰らなくても支障のないものは学校においてもいいように工夫していただくと助かります。毎日、肩が痛いと言っています。(1学期も同じようなご意見があり、学校も対策をしたつもりではありましたが、抜本的なものになっていなかったようで申し訳ありません。現在、来年度の小中野中学校の様々なことについて考えていく「教育課程編成会議」を何度か開いて話し合いをしております。この中で、リュックの重さについても話題にしながら対策を考えていきたいと思ひます。学校としての見解がまとまりましたら、何らかの形で必ずお知らせいたしますので、しばらくお時間をいただければと思います。) ●同じ学年でも、連絡事項がクラス単位で子どもたちに伝わらないのはなぜでしょう。(これは、学校としても一番よくないことだと思います。校内や学年内で意志疎通を確実にやり、生徒たちに混乱を生じさせないようにしたいと思ひます。) ●「先生に相談しなさい」と「自分たちで考えなさい」の境界線はどこ？(生徒の発達段階において、先生が指示する場合もあれば、同じ課題に対して生徒自身に考えさせることもあり、一概にお答えできませんが、ただ言えることは、「相談しなさい」と「考えなさい」の2つについて生徒が困惑するようであれば、言っている先生の意図が通じていないことになりしますので、その点で生徒を混乱させないような指導をしていきたいと思ひます。) ●学校がえこひいきをしない(男女)、部活のことを理解してくれるのでとても良い先生です。来年もお願いしたい。/担任の先生に助けられてありがとうございます。/学習・生活・部活動と丁寧なご指導に感謝しております。先生方の負担がとても大きいと感じるので、保護者にも理解を求めて休養がとれるように願ひます。(温かいご意見や励まし、ありがとうございます。保護者の皆様が肯定的に学校や先生を見ていただけると、生徒もそうなりますし、否定的であればお子さんもそうなるのだと思ひます。学校とご家庭で助け合うようないい関係を今後も築いていければと思います。) ●No.135希望の鐘で、毎回何かの変化をつけ続けることが「進化」「進歩」「発展」につながるのことに、とても共感しました。時代の流れや子どもたちの様子を見てくださっているからこそ、子どもたちの良いところを引き出すことができるのですね。ありがとうございます。(過分なるおほめの言葉、ありがとうございます。さらに、毎回「希望の鐘」を読んでいただき「感謝」です。学校の存在理由の大きな部分は、私は子どもたちの力を伸ばしてやることだと思ひています。それには、押し付けではない「子ども理解」と子どもを見守る温かい眼差し、そして「謙虚な心」が必要だと思ひます。今後も、学校と家庭が両輪の役目を果たしながら、同じ方向を向き協力しあいながら子どもたちに関わっていければと思います。よろしく願ひいたします。)

ご多用中にもかかわらずアンケートにご協力いただき、本当にありがとうございました。